



おとがわ



ふお～ゆ～

校長室だより

第 37 号

R3.12.1

文責 中西 勉



勉強 = 「？」 → 「！」

昨年、今の6年生が5年生だったとき、私は5年生の算数のTT（チーム・ティーチング）授業に行っていました。その授業を通じて、子供たちに『勉強する』というのは、自分の『？』を自分の力で『！』にすることだよ』という話をしました。この話を聞いて、多くの子供たちが「なるほど！」と頷いていたことをよく覚えています。

ただ単に、「？」を「！」にするだけなら、先生に教えてもらうことでもできます。しかし、これは「受け身の学び」であり、それは勉強の価値としては低いと思います。「受け身の学び」は、教えてくれる人がいなければ、学ぶことは難しくなります。一方、自分の「？」について、自分で予想し、考え、それについて友達と話し合ったり、様々な人に質問したりして、自分の力で「！」にするという「主体的に学ぶ力」を身に付ければ、いつでも自分の意志で学んでいくことができます。学校では、こうした「主体的な学び」のプロセスを数多く経験できるように、日々の授業を工夫していきたいと考えています。



先日、2年生が「町たんけん」に出かけました。当日は、PTA「ワンチーム活動」のボランティアの保護者の方々と一緒に、町のお店などを訪問して聞き取りを行いました。この「町たんけん」に向けて、私は2年生の子供たちに、「お店の人に質問をするときは、自分の予想を言って、それを確かめるように聞くといいよ」とアドバイスをしました。そして、子供たちがどんな学びをしてくるか、学校でわくわくしながら待っていました。すると、子供たちは、「町たんけん」からとても満足した表情で戻ってきました。そして、「町たんけん」の振り返りには、こんなすてきな文章がありました。

「ペットショップで、『犬の中で一番うれているのは、ポメラニアンとチワワだとおもいますが、どうですか』ときいたら、『そうですね。そのとおり』と言ってくれました。さらに、『黒い犬と白い犬だと、白い犬のほうがおおいとおもいますが、どうですか』ときいたら、『そうですね。黒い犬は、目がどこにあるかわからないから、インスタばえしないので、白い犬のほうがよくうれますよ』とおしえてくれました。」

この振り返りからは、自ら予想し、考え、質問して、自分の力で「？」を「！」にしていく子供の姿がよく伝わってきますね。

今後も、子供たちが自分の力で「？」を「！」にすることができるように、目指す子供の姿を明確に見据え、本校の職員が一丸となって、授業の質を高めていきたいと思います。ご家庭でも、お子さんの主体的に学ぶ姿が見られた際には、大いに褒めてくださると幸いです。学校と家庭が連携して、お子さんの力をよりよく伸ばしていきたいでしょう。



▲ペットショップで自ら質問する子供